



【プレスリリース】

2019年5月28日

DNA Media株式会社

株式会社ココライズ・ジャパン

DNA Media、ココライズ・ジャパンから事業譲受

～ミャンマーでの言語サービス需要掘り起こしに注力～

多言語翻訳サービスおよびデジタルコンテンツ制作のDNA Media 株式会社（東京都千代田区、代表取締役：中尾勝）は、ミャンマー語専門の言語サービスの株式会社ココライズ・ジャパン（東京都新宿区、代表取締役：長田潤、以下：ココライズ）から同社が運営する翻訳および Web コンテンツ事業を6月1日付けで事業譲受し、6月3日から運営開始しますのでお知らせ致します。これにより、DNA Media は東南アジア地域における翻訳を始めとした言語サービス需要に本格的に対応できる体制を整備、2、3年後には年間1億円以上の売上高達成を目指します。

ココライズから譲受することになった主な事業は、1）ミャンマー語及びミャンマー少数民族言語に特化した翻訳事業 2）通訳および通訳者派遣事業 3）ミャンマー語検定（Myanmar Language Test）事業 4）「ミャンマーエクスプレス」販売事業——などとなります。ココライズは2014年3月の創業以来、ミャンマーの翻訳市場の開拓に乗り出しており、2016年5月にはミャンマー法人を設立、2019年1月にはミャンマー第二の都市マングレーにもオフィスを開設するなど、同市場で積極的な活動を展開していました。なお、今回は事業を譲り受けると同時に、DNA Media の取締役として長田潤が就任いたします。

翻訳事業は、日本語および英語からミャンマー語だけでなく、カレン語、カチン語、チン語などミャンマーの少数民族言語にも対応できる体制となっています。また、情報媒体の「ミャンマーエクスプレス」(<http://myanmar-express.com/>) は、ミャンマーへ進出する日本企業向けにミャンマーの最新の政治、経済、金融、法律、社会情勢を情報発信するもので、現地で良く読まれている新聞・雑誌など15媒体と提携し、月400本以上のミャンマーニュースを日本語でタイムリーに提供しているものです。

3つ目のミャンマー語検定事業は、外国人のミャンマー語能力を測るための初の資格試験で、国籍を問わず、ミャンマー語を学習するすべての非ネイティブを対象とした、ミャンマー語スキルを証明するスタンダードとなっています。

ミャンマーでの言語サービス需要は、近年の日本企業及びその他外資の進出によって、急激に増加。実際、日本企業の進出状況は、2012年には85社だったのが、2018年には388社（ミャンマー日本商工会議所への登録社数）になっているほどです。今回の事業譲受によって、ミャンマーをはじめとした東南アジア市場でのトップランナーを目指す方針です。

■株式会社ココライズ・ジャパン

所在地：東京都新宿区百人町 3-10-7

代表取締役：長田 潤

会社設立：2014年3月

<http://kokorize.com/>

事業内容

ミャンマー語及びミャンマー少数民族言語専門の翻訳業、ミャンマーローカルニュースを日本語で配信する「ミャンマーエクスプレス」、ミャンマー語検定。日本でのミャンマー語関連事業での実績に加え、ミャンマー現地で大手通信会社、SNS、映像メディアなどの取引実績が多数あります。

■DNA Media 株式会社

所在地：東京都千代田区神田神保町 2-20-6 恒倉ビル 4 F

代表取締役：中尾勝

会社設立：1999年6月

事業内容

ローカリゼーション（多言語翻訳）、デジタルコンテンツ制作、プロモーションビデオ制作などを主な事業として展開し、世界最大手の外資系 IT 業界を中心に、大手出版社、大手テレビ局などの多くの実績があります。品質最重視の Transcreation サービスとコンテンツ制作のソリューションをともに提供できる唯一のベンダーであると自負しています。

<http://dnamedia.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

DNA Media 担当者 中尾勝

TEL : 03-3556-0881

E-mail : info@dnamedia.co.jp

以上